



赤ちゃん	性別	出生日	父	母	地区
寺村 海汰	男	2. 2	香南		㊦ 栄町
石原 成	女	2. 3	弘	春美	㊦ 旭町 2
橋田 紗奈	女	2. 5	諭	容子	㊦ 旭町 5
岩村 星南	女	2. 6	卓弥	佳世	㊦ 談西
後藤孝史朗	男	2. 8	博史	ゆか	㊦ 西本町 5
坂田奈寧子	女	2. 11	真一	仁美	㊦ 旭町 4
西村 有咲	女	2. 15	将	奈保	㊦ 予岳
相原 舞	女	2. 22	裕二	羽衣	㊦ 栄町
村上 由泰	男	2. 22	由高	綾	㊦ 本村

木材市況 3月8日第309回市(物部) 2月28日第70回市(香美)

材長	樹種	スギ(円/m ³)		ヒノキ(円/m ³)	
		直・小曲	曲	直・小曲	曲
4m	12cm下	9,000	9,000	10,000	10,000
	13cm~14cm	9,700	9,000	15,000	10,000
	15cm~16cm	12,000	9,500	21,000	15,500
	18cm~22cm	15,000	12,500	18,000	15,500
3m	12cm下	8,000	8,000	9,500	9,500
	13cm~14cm	8,000	8,000	11,000	9,000
	15cm~16cm	15,000	9,500	20,500	15,500
	18cm~22cm	15,000	12,500	18,000	15,800
2m	24cm上	8,500	8,000	9,000	8,500
	18cm~22cm	19,000	16,000	25,000	23,000

物部市況
スギ・ヒノキともに強保合。ヒノキの3m・4mの直・小曲が15~22cmが一段高。スギ・ヒノキの元類は横ばいだが引き合い強い。
雪の影響がなくなり入荷量増。スギは低質・大曲・30cm上は4m有利。その他は3mが有利。ヒノキは直材になるように、24cm上や大曲は4mが有利。
営業時間 月曜日~土曜日 8時~17時(祝祭日休み)

なお、上記の単価は1m³あたりの平均単価です。
【問い合わせ先】
物部森林組合ストックヤード
(物部町中谷川314) ☎57-3540
香美森林組合国見支所/繁藤ストックヤード
(土佐山田町繁藤140-7) ☎57-9114

ご冥福をお祈りします

お名前	性別	亡月日	享年	地区
高芝 利美	男	2. 1	93	㊦ 植
河内 章宏	男	2. 3	83	㊦ 東本町5
谷相 正	男	2. 4	81	㊦ 大正町
元吉 裕	男	2. 5	69	㊦ 東本町2
船谷 淳	男	2. 5	89	㊦ 神母ノ木
濱田 雪美	女	2. 5	100	㊦ 宮ノ口
竹内 壽子	女	2. 5	101	㊦ 中後入
小野寺 寛	男	2. 7	61	㊦ 西本町5
田本 明正	男	2. 7	92	㊦ 岡ノ内
小松 勇	男	2. 9	64	㊦ 根木屋
嶋本 悦子	女	2. 9	80	㊦ 宝町2
井上 忠明	男	2. 9	83	㊦ 東本町1
川村 きよ	女	2. 9	99	㊦ 栄町
柳瀬 博章	男	2. 11	55	㊦ 加茂
滝野 萬之助	男	2. 11	89	㊦ 内田
岡本 源馬	男	2. 11	91	㊦ 東本町1
西本 嘉子	女	2. 11	96	㊦ 猪野々
西村 浩吉	男	2. 12	88	㊦ 小島
田中 啓郷	男	2. 12	89	㊦ 五百蔵
石川 利春	男	2. 15	87	㊦ 繁藤
吉川 眞寿美	女	2. 17	90	㊦ 本村
佐藤 夏子	女	2. 17	91	㊦ 宝町4
吉村 勝	女	2. 17	99	㊦ 平田
新田 次生	男	2. 18	75	㊦ 北組西
門脇 勲	男	2. 18	85	㊦ 宝町5
松山 保	男	2. 19	88	㊦ 伏原
新城みどり	女	2. 21	65	㊦ 旭町5
谷 時子	女	2. 21	68	㊦ 小島
小松 陸男	男	2. 23	69	㊦ 有瀬
常石 智子	女	2. 23	71	㊦ 中村4
門脇 秋	女	2. 23	83	㊦ 有瀬
立花 恵	女	2. 26	100	㊦ 大正町
春田 光子	女	2. 28	87	㊦ 神通寺

※地区名の㊦は土佐山田町、㊦は香北町、㊦は物部町です。
※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

市の人口 平成30年3月1日現在

総人口	26,379人	男	12,330人	女	14,049人
前月比	±0人		±0人		±0人
山田	20,018人	香北	4,518人	物部	1,843人
前月比	+13人		-1人		-12人
世帯数	13,010世帯	転入	50世帯	2月 出生	18人
前月比	+26世帯	転出	21世帯	2月 死亡	42人



◆一般投稿作品◆ 岡崎桜雲 選

梅一輪賞める傍らもう一輪
ふるりの裏山の窟日脚伸ぶ
晩秋の朝の清しさデイに行く
老木に残月かかり霜白し
人気無き里に轟く冬の雷
新春の吉井勇を聞く会に
凍てる日々頭巾・マスクは必需品
七十路とて素振り百回雪の朝
休耕の畑に息する土筆かな
草焼きの煙映すや物部川
予岳寺の鐘の余韻の胸に染む
農の妻身嗜みして厄落し
金箔のお神酒頂く初日かな
花誘う気まぐれ木の芽腰を振る
立春を過ぎて重ね着増えており
春雨や奥の院へと導かれ
早起きの顔にたわむれ春の風

◆美良布俳句会◆
四阿を吹き抜ける風春浅し
霜白し宅地となりし牛舎跡
絞り染め絞りに咲かせ花の数
垢抜けし石垣の現れダム涸るる

切りさけし雪が飛び散りピョンチャンに
凍て空に皆既月食雲の上
枝先に膨れ群らがる寒雀
大寒の水が重たくたなごころ

◆かがみ野俳句会◆
奥土佐を被い尽くして深雪晴
三寒の続きし土佐の空仰ぐ
今年こそお洒落楽しむ冬帽子
山裾におでんの匂ふ灯の一つ
昼月や合掌とけぬ枯薄
しみじみと時積み重ね小豆粥
梅が香に呼び止めるる喪の帰り

◆かほく俳句会◆
大甕の水の黒さや春寒し
春の草刈る人の減り梅の久保
雪片の飛びつく梨の枝を剪る
山里の春立つ市を覗きけり
日脚伸ぶ山の夕日を拝みけり
崩壊地ぼつりぼつりと春の草
山野草の名を記す木札枯葎
一輪の梅が先ず咲く梅の久保
じいちゃんを終へ春句座の顔となる
薄氷の上に乗せたる齢かな
いろは歌唱へ傳へて初大師
ワイン抜くボンと春風吹くやうに
限界と言ひつ柚子畑冬夕焼け
夕されば芝焼き美しき湖畔かな
御降の吹雪を突いてデートかな
命継ぐ流動食のお元日

◆土佐山田町俳句会◆

藁苞をかぶり深雪の水子仏
二ん月の塀に梯子の先が見ゆ
伸子張る庭にニヨッキリ露のたう
ヒヤシンス手話でうたうは愛のうた
水底に沈める記憶寒の月
通院のバス待つ駅の冴え返る
髭剃りの肌上添う手の余寒かな
早春の光を浴びて帽子パン
兼山用水走るわが町燕来る
影踏み影の恋しい昭和の灯

明石 蕪生
橋本 昭和
大石 邦男
安丸 慎子
前田美智子
森田 菊恵
笹岡 英世
西内 道彦
甲藤 卓雄
榎谷 雅道

◆投稿方法◆

投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。

◆俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。

◆誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

投稿先 総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-1850 1 (住所記載不要) FAX 53・5958

◆今月のキラリ◆ 広報委員会

七十歳とて素振り百回雪の朝
振り百回は竹刀だろうか。いづれにしても、その決意、姿勢は、雪の朝のように清々しい。